上条 報告

第８７号
平成28年8月
甲州市教育委員会
☎32 - 5076

裂石山 雲峰寺 庫裏の茅葺屋根 葺き替え工事を行っています

塩山上萩原にある雲峰寺の庫裏で茅葺屋根の葺き替え工事を行っています。庫裏の屋根は、切妻造り茅葺きで、平成十一年に部分的な葺き替えを実施し、十七年が経過した今年度に屋根全面の葺き替え工事を実施することとなりました。屋根は腐食が進み、雨漏りが生じる状態でした。

雲峰寺の諸堂は、室町時代に武田信虎（信玄の父）により再建され、以後、武田氏をはじめとする甲斐源氏の祈願所として武田氏の庇護を受けたと伝えられています。仁王門、本堂、庫裏、書院は重要文化財（建造物）日の丸の御旗、孫子の旗などは山梨県指定文化財（歴史資料）となっており、貴重な文化財が数多く残されています。文化財は地域の歴史を伝える貴重な資料です。いつまでも大切に、地域全体で守っていく必要があります。

今号では現在行われている雲峰寺庫裏の茅葺屋根葺き替え工事の様子と雲峰寺の文化財についてお伝えいたします。また、七月に上条を見学した団体の様子、お知らせコーナーでは歴史的風致散策イベントのご案内を掲載しました。どうぞご覧ください。

雲峰寺 庫裏 保存修理工事の様子

工期　平成二十八年三月一日～八月末
工事主体　雲峰寺
工事費　三三四〇万円
工事内容　茅葺屋根の全面葺き替え
畳の表替え

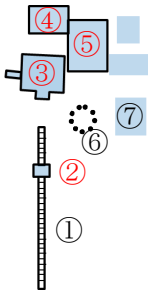
1．茅葺屋根葺き替え工事前

2．工事中：下地直し、軒付け作業

3．工事中：平葺き作業

4．工事中：平葺き作業

○雲峰寺の文化財（建造物）

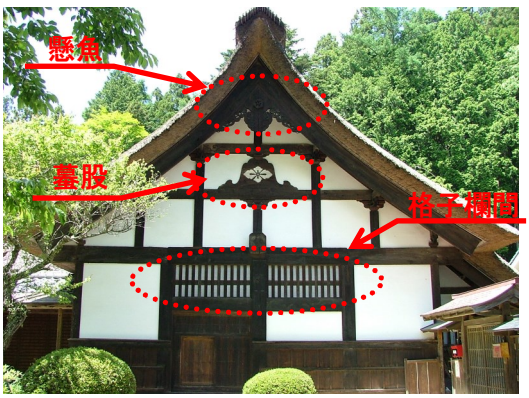


↑雲峰寺境内図

①参道の石階段
②仁王門（重文）
③本堂（重文）
④書院（重文）
⑤庫裏（重文）
⑥ｴﾄﾞﾋｶﾞﾝ（ｻｸﾗ）
⑦宝物殿

○庫裏の建造物の特徴

南面からの妻入りで、正面の妻飾りは、柱や束、蟇股（かえるまた）、懸魚（げぎょ）、格子欄間、漆喰の白壁となっています。バランスのとれたプロポーションに加え、左右対称に配置された装飾意匠が安定感のある印象を与え、美しい建造物です。



妻面の特徴的装飾

○自然素材の屋根葺き材

自然素材の屋根葺き材には、ススキやヨシによる茅葺き、檜の皮による檜皮葺き（ひわだぶき）、杉や檜の板による柿葺き（こけらぶき）などがあり、雲峰寺は、本堂が桧皮葺き、書院と庫裏が茅葺きですが、近年、これらの自然素材を確保することが難しくなっています。

文化庁では文化財建造物の保存に必要な資材の供給林及びその技能者のための研修林として「ふるさと文化財の森」を設定しています。雲峰寺の境内林もこれに設定されており、定期的に檜皮の採取が行われています。

檜の皮を剥ぐ職人を「原皮師（もとかわし）」という

七月のできごと

【群馬県中之条町の視察研修】

七月五日（火）に群馬県中之条町教育委員会の委員の皆様がいらっしゃいました。

中之条町には上条と同じ山村・養蚕集落の「六合（くに）赤岩」重伝建地区があることもあって、上条の成り立ちから建造物の特徴など、集落の説明を熱心に聞いていました。

【中野たてもの応援団の見学】

七月十日（日）に中野たてもの応援団の皆様が見学にいらっしゃいました。この中には平成十六年度に行われた（財）日本ナショナルトラストの上条調査及び報告書作成に携わった方もいて、上条の風景を懐かしむ様子でした。報告書の発行から約十年経過しており、その時と集落の印象が違うような気がするとか、道や庭先など集落全体が綺麗になっているとか、全体の雰囲気が明るくなったとの声がありました。上条集落を大いに満喫していただいたようでした。

お住まいの皆様の心がけがそんな印象につながっているのだと思います。

【第八回上条集落見学会】

七月二十四日（日）に昨年度から八回目の上条集落見学会を開催しました。当日は市内外より七名の参加があり、福蔵院から集落内へご案内しました。

当日は天候にも恵まれ、暑すぎず歩くには最適のお天気でした。少人数であったため、じっくりとご案内することができました。

【集落入り口に看板を付けました】

小田原橋のたもとの集落入り口に案内看板を付けました。看板が見にくい、もっとこうしたほうがいいのでは、などご意見をお聞かせいただければ幸いです。

お知らせ

第五回　歴史的風致散策

雲峰寺から塩山駅までの道を歩きながら歴史的風致をご案内します。

日　時　八月二十八日（日）
　　午前十時～午後四時頃
集合場所　甲州市役所　東側駐車場
※歩きやすい服装でご参加ください
※昼食をご持参ください

※申込み・文化財課まで
（☎ 三一-五〇七六）